

河 合 町

議会だより

NO.15

2026(令和8)年
2月1日発行

今月の表紙 ●●●●

大輪田駅、佐味田川駅間の写真です。

【撮影】

ペンネーム だいどこどん

目 次

議会の動き	2
本会議の一般質問	3~8
令和7年度北葛城郡・ 生駒郡町村議会議員合同研修会	9
令和7年度全議員研修会	9
まほろば環境衛生組合施設視察	9
河合清掃工場視察	9
総務文教常任委員会結果報告	10
厚生建設常任委員会結果報告	10
議決結果賛否一覧	11
傍聴者の声	11
友好都市「飛騨市」行政視察・編集後記	



は せ がわ しん いち
長谷川 伸一



町財政再建の展望について

問1 財政健全化計画見直しはR4年～R12年までの9年間の計画となっているが現実とかなり乖離（かいり）しています。令和9年からの4年間の計画を再度見直すべきではありませんか。

答1 見直しの時点で補足できなかった財政需要が生じており、計画と決算に乖離が生じている事実がある。後天的（こうてんてき）に生じてきた財政需要は毎年12月町広報紙に記載している財政見通しに反映させる。（町長）

問2 県から財政重症警報団体に指定され、県職員派遣（副町長）に係る基準の一つ、実質公債費比率を18%未満にするためにどのように町財政基盤の安定を図るのですか。

答2 財政再建の展望に係る実質公債費比率の関係について、県と協定を締結したR5年度より毎年度繰上げ償還を行う事で、後年度の定時償還額を低減している。（副町長）

問3 R6年度普通会計北葛4町の積立金現在高は、河合町約11億円、上牧町約15億円、王寺町約90億円、広陵町は約38億円となっている。河合町も今後特定目的基金の積立てを行う考えはあるか。

答3 財政調整基金や減債基金以外の特定目的基金について、今後財政状況を見ながら検討して行きます。（副町長）

町立小中学校再編について（教育行政ハード面）

問1 昨年より教育委員会にて再編を検討しているが、いつまでに再編方式（形態）を決定するのですか。

答1 教育委員会で再編に伴う懇話会を開催し、再編についてアンケート調査等、議論を重ねてきました。現実な選択肢として、現在の第一小中学校区と第二小中学校区をそれぞれまとめ、小中一貫校を視野に、「2校体制」を軸に検討を進めたい。（教育長）

問2 学校再編基本方針計画で、町はどのような手順で学校再編計画を進めるのですか。

答2 「河合町学校再編検討委員会」を早急に立ち上げ議論し再編の方向性を示していきたい。（教育長）

12月9～10日 定例会

議員の
ここが
知りたい!! 一般質問

長谷川伸一 P3	1. 町財政再建の展望について 2. 町立小中学校再編について（教育行政のハード面）
馬場千恵子 P4	1. インフルエンザ予防接種について 2. 河合町の桜を守るために 3. 文化会館再開に向けて
坂本博道 P4	1. 町営住宅長寿命化計画の進捗状況と今後の取り組みについて 2. 教育をめぐる取り組みについて 3. 財政問題について
佐藤利治 P5	1. ラーケーションの採用について 2. 広報公聴係の主な仕事内容について 3. まほろばホールの利用休止について 4. 持続可能な航空燃料について 5. 河合町あき地に繁茂した雑草の除去に関する条例の改正について
常盤繁範 P5	1. 令和7年6月定例議会一般質問継続質疑 2. 道路路面警戒標示で交通安全を 3. 友好都市「飛騨市」からの行政視察について 4. 通学困難児童・生徒へ学習支援を
岡田康則 P6	1. 学校施設空調機器について 2. 学校の長期欠席者への対策
杵本光清 P6	1. 旧河合第三小学校のB棟・C棟の今後について
大西孝幸 P7	1. 奈良県との連携について 2. 職場環境と住民サービスについて
杵本貴司 P7	1. 子育てと就労の両立支援について 2. 多世代がスポーツを楽しめる環境づくりについて
梅野美智代 P8	1. 町の道路整備について 2. 職員採用にあたっての処遇改善について 3. フリースクールについて
中山義英 P8	1. 空き家プラットフォームの設置について 2. 道路行政について

議会の動き

河合町議会令和7年第4回（12月）定例会

11月28日(金) 10時00分 議会運営委員会
12月 5日(金) 9時30分 議会運営委員会
10時00分 本会議(初日)
12月 9日(火) 9時30分 一般質問
12月10日(水) 9時30分 一般質問
12月11日(木) 10時00分 総務文教常任委員会
13時30分 厚生建設常任委員会
12月17日(水) 9時30分 議会運営委員会
10時00分 本会議(最終日)



12月定例会の
傍聴者総数が40人

本会議の様子も、録画配信で見てね。



▶ 初日



▶ 最終日

10月から12月までの録画配信の
視聴回数は563回



議会議
知って!!

「常任委員会は傍聴可能です」

定例議会最終日に採決される議案で、慎重な審議が必要な議案は、常任委員会（総務文教常任委員会・厚生建設常任委員会）へ振り分けられます。

本会議は、ひとつの議案に各議員の質問は2回までと制限がありますが、常任委員会では表決判断までに回数の制限はなく慎重な審議が行われます。ぜひ、傍聴ください。



ときわ しげ のり
常盤 繁範



「スマートシュリンク(賢く縮む)」

令和7年6月定例議会一般質問継続質問

- 人口減少が避けられない河合町では、賢く縮む「スマートシュリンク」の予算編成がこれからは必要。
- 高知県4Sプロジェクト(集合・伸長・縮小・創造)を示し、町長へ「公共施設再編」の考えを伺いました。

道路路面警戒標示で交通安全を

- 佐味田川駅前マンション周辺交差点区域
- 大輪田駅前ロータリー周辺交差点区域



過去には、車両転覆事故もあった箇所の改善状況を確認しました。

友好都市「飛騨市」からの行政視察

通学困難児童・生徒へ学習支援を を質問

さ と う と し はる
佐藤 利治



まほろばホールは誰の物？

問 現在、休止中のまほろばホールについて10月15日に緊急要望書を町長へ提出いたしました。今回の一連の流れの事、問題が発生後、勿論直ぐに議会へあげて頂いて居ると思いますが、関係の常任委員長になぜ相談等が無いのか残念でなりません。まほろばホールは当たり前の話ですが、町長の物でも、私達議員の物でも無く、文化芸術を拝聴参画する住民の施設です。住民からは今回の休止で文化の灯を消すなど仰る方、またいつまで採算の取れないホールを維持して借金を増やすつもりかとの厳しいお声を頂く事もあります。丁寧な議論を複数回していく必要があると考えますが如何ですか。話し合いをしても将来の在り方について住民の意見が一つに成ることはありません。結論がでなくても未来の素晴らしいホール構築のヒントやきっかけが住民の話し合いの中にあるのではと考えておりますので是非よろしくお願いします。

答 住民の声を聴く為にアンケート調査等、また条例には参加、参画といった協働の制度があります。町民及び町は、まちづくりに関する自由な意見交換等、熟議が行える場や機会を設定し、町民同士、また町民と町が学び合う交流や連携を促進する機会をつくるよう努めるものとするとの制度があります。多くの町民の意見を聞く場、町民同士の議論を何度か行う目的で意見交換会の開催を検討して参ります。(教育振興部)

ラーケーションの採用について

問 平日に、ご両親の休みに合わせて子どもが休みを取り、学校外で学ぶラーケーションの検討は進んでいますか。

答 令和8年4月を目標に実施に向け取組んで参りたいと考えております。(教育振興部)

持続可能な航空燃料SAFについて

問 令和8年1月からすすめられそうですか。また収益はどの様に利用されますか。

答 今年度中の実施に向け進めております。収益については検討中ですが一例として啓蒙の看板など、清掃工場での歳出に対する財源の充当等で考えております。(生活環境部)

※他の質問

- ・広報公聴係の主な仕事内容について
- ・河合町あき地に繁茂した雑草の除去に関する条例改正について



さか もと ひろ みち
坂本 博道



町営住宅等長寿命化計画の進捗状況について

問 低家賃住宅は必要の立場で賛成した。住宅長寿命化計画(30年計画、現在6年目)の進捗状況と平準的な財政支出など今後の課題はどうか。住民理解の前提として、公正な管理運営が必要、「又貸し」などはないか。

答 計画にある泉団地、向陽団地の用途廃止を早期実現するために、入居替え改修工事を優先して進めており、泉団地は目処が立った。予算的には10年目までの当初計画では約2億6千万円の見込みが、約1億円以上の増加見通し。今後、改良住宅の公営住宅化、財政状況からの進捗テンポなど、来年度「計画」改定を検討している。又貸しはなく、この6年で35名の承継手続きが済んでいる。(生活環境部長)

教育をめぐる取組について

問 学校再編計画の検討状況、今後の進め方はどうか。拙速に決めず、検討議論への住民参加を保障し、より良い教育実現の機会にするべきではないか。

答 教育委員会では懇話会を結成し、アンケートを実施した。教育委員会としては、現在の第1、第2小中学校区をそれぞれまとめ、小中一貫校を視野に入れ2校体制を軸に考えている。今後、1月に学校再編検討委員会を立ち上げ、教育委員会の方向性を示しながら、フラットな状態で検討していただき、3月の年度末までに方向性を決めたい。(教育振興部長)

問 不登校の取組はどうか。

答 令和5年度35人、6年度28人、7年度12人(1学期)。居場所として、来年度から各校に「校内教育支援センター」の設置を考えている。(教育振興部長)

財政問題について

問 現在の財政状況の評価はどうか。数字がよいのが「よい政治」ではない。今後必要な事業計画も反映させながら、財政健全化計画の見直しはどうか。財政調整基金、公有地売却、借金の繰上償還による公債費の減額分(令和8年度は約6千万円)なども、新たな財源として活用すべきではないか。

答 令和6年度決算の財政指標は、健全化計画の見通し以上に改善しているが、依然厳しい数字で、財源に余裕のある状態ではない。財政調整基金は財源調整、非常時の備えとして活用するものと考えている。健全化計画は、令和7年度決算確定後、見直したい。(総務部長)

ば ば ち え こ
馬場 千恵子



インフルエンザ予防接種について

問 令和5年までは無料でしたが令和6年度から1,500円の負担があります。今からでも無料にすべきではないでしょうか？また、中学3年と高校3年の受験生のワクチン接種を無料にし応援してはどうですか？

答 高齢者及び受験生へのインフルエンザ無料接種は財政状況や他の事業とのバランスを考えると、今年度の実施は難しい。来年度以降も財政状況や県内の実施状況をみながら検討をすすめていきたい。(福祉部長)

河合町の桜を守るために

問 クビアカツヤカミキリから、桜の木の被害を抑え倒木の危険から命を守るため4,000万円の事業費が計上されていますが進捗状況についてお聞きます。

答 補助金の交付決定2,400万円の対策事業で樹木の伐採を実施したい。また、樹木樹幹注入剤で防除を予定している。広報等による周知と共に住民の皆さまとの協働も進めて行きたい。(まちづくり推進部長)

文化会館再開に向けて

問 河合町文化会館の非常用発電機の故障により休館するという事が広報に掲載されましたが休館からそのまま閉館になるのではと言う不安の声も上がっています。開館の時期を明らかにし、存続についての方針を示して下さい。

答 非常用発電機の更新のみならず舞台設備、機械設備、空調機器の劣化も含めて総合的に検討する必要があると考えている。(教育振興部長)

答 この会館をどのように修理して使えるのか精査し、修繕計画を整理した上で、検討結果を踏まえ報告します。(町長)

問 広報では一時的に休館とすることで利用者をはじめ地域住民の皆さんの声を聴き取り、皆さまと共に文化会館の未来を考えて行きたいとありますがどのような方法で聞き取られるのですか？

答 アンケート方式や検討委員会など様々な事例を含めたうえで検討していきたい。再開時期については、ある程度総合的な計画ができていないので、現在は未定と広報でお知らせをしています。(生涯学習課長)



すぎもと たかし
枚本 貴司



学童保育と「小1の壁」- 子育てと就労の両立支援

放課後の安心づくり - 学童のお弁当と体験活動 -

問 学童保育は、子どもたちの放課後の安心の場であり、保護者が働き続けるための大切な基盤です。民間委託を機に、長年課題とされてきた長期休業中のお弁当の負担や、学童で過ごす時間をより豊かにする体験活動について、町の取り組みについてお聞きます。

答 町では委託事業者と月1回の協議を行い、運営状況や保護者の声を確認しています。長期休業中の昼食については、事業者のノウハウを生かし、冬休みから昼食提供を開始します。また、サッカー教室や文化的体験などを取り入れ、子どもたちの成長につながる学童運営を積極的に進めてまいります。(子育て健康課長)

「小1の壁」を越える支援 - 入学後も切れ目なく -

問 小学校入学により、子どもや保護者の生活環境が大きく変化するいわゆる「小1の壁」は、保護者の就労継続や子どもの安全確保に影響を及ぼす課題です。本町の対応についてお聞きます。

答 町では、教育と福祉が連携し、保護者の不安や相談を把握しています。「小1の壁」について、今後も地域資源の活用を含め、切れ目のない支援体制の構築に向け検討を進めてまいります。(子育て健康課長)

多世代が楽しめるスポーツ環境づくり

走る力を町の力に - 河合町マラソンと観光 -

問 今回、「馬見丘陵公園」を新たにコースに取り入れたことで、河合町民マラソンは町内外から多くの参加を得て、参加者数も前年と比較して大きく伸びるなど、確かな成果が見られました。この大会で得られた成果や可能性を、今後の町づくりや観光振興にどのように活かしていくのか、本町の方針をお聞きます。

答 今回のマラソン大会は、知名度のある「馬見丘陵公園」の自然や景観を生かしたコースが好評で、多世代交流と町の魅力発信につながりました。町としては、この成果をスポーツ振興にとどめることなく、観光や地域交流、町のブランド力向上へと発展させ、河合町らしい誰もが気軽に参加できるマラソン大会として更なる充実と継続を図ってまいります。(生涯学習課長)

おおにし たか ゆき
大西 孝幸



奈良県との連携について

現在、池部駅は馬見丘陵公園の最寄り駅として認知されていると思います。

今回、質問に至った経緯については、私が知り得た情報として非公式ではありますが、知事は池部駅から馬見丘陵公園まで電動カートを走らせる構想を持っておられます。電動カートを運用するのであれば保管、充電設備、整備場所等が必要になります。

問1 内容確認のため、県にアプローチしますか。

問2 事業化に進む場合、旧公民館や旧体育館の跡地を利用する考えはありますか。

問3 県との連携を前提として旧公民館や旧体育館の跡地を利用する場合、解体費用について県と協議する考えはありますか。

答 奈良県との連携についてという部分ですが、馬見丘陵公園では、週末やイベント開催時期に合わせて、園内の移動をスムーズにするために電動カートを運行しておられます。

その電動カートの運行をさらに北側、緑道エリア、池部駅まで運行させるといった構想が、奈良県や馬見丘陵公園の近隣町などで組織する馬見丘陵公園にぎわいマネジメント協議会の中で提案があったということは把握しておりますが、具体的な事業化については、現時点では未定であると認識しています。

このように、具体的な事業化についての詳細は確認できておりませんので、あくまで仮定の話ということになりますが、馬見丘陵公園との連携、池部駅周辺の活性化につながる事業ということであれば、跡地の利用も含め町として検討する必要があると認識しています。(総務部長)

職場環境と住民サービスについて

問1 長期休暇の方は何名おられますか。

問2 長期休暇や職員間の人間関係による住民サービスへの影響はありませんか。

答 職場環境と住民サービスについてということで、心身の不調などにより長期間休職している職員は、11月末現在、1年以上休職している職員は2名です。

職員の休職などによる住民サービスへの影響の部分ですが、長期で欠員が生じた場合、そういった影響が生じないように、例えば、会計年度任用職員を配置するなどの対応を行っています。(総務部長)



すぎもと みつ きよ
枚本 光清



旧河合第三小学校のB棟・C棟はどうするの？

令和5年度に町立体育館と防災倉庫、令和6年度に町立公民館が整備され、町民の皆様にとって利便性を感じていただける施設に生まれ変わりつつあります。これまで町は旧河合第三小学校のB棟・C棟について議員説明会・住民説明会において「主に多世代交流スペースとして整備」「住民の自主的活動拠点」「歴史文化財・民具等の保存展示研究スペースとして整備」として説明してきました。

問 旧河合第三小学校のB棟・C棟の今後の計画は？

答 従来の説明通りの計画をしており、変更は行っておりません。(副町長)

問 耐震補強がされていない旧中央公民館のさらに旧館（昭和46年築）、この2階・3階に国の重要文化財に指定されている三角縁神獣鏡の一部など貴重な文化財や古文書などが保管されているが、このままでよいのか？

答 優先すべき課題はあるが、B棟・C棟整備の早期実現を図っていく必要がある。(副町長)

問 町は以前より陶芸同好会の方に「旧河合第三小学校B棟・C棟の整備とともに陶芸室と陶芸窯を移転する」と約束をしてきた。この約束をどのように考えているのか？

答 B棟・C棟の整備とともに早期に移っていただける環境を整えたいと考えている。(副町長)

※令和7年12月8日夜に東北・北海道で最大震度6強の地震がありました。耐震補強がされていない旧中央公民館のさらに旧館で陶芸の活動をされている方は命の危険を感じながらの活動となっている。住民の安心・安全を守る環境整備と貴重な文化財の適正な保存・管理を行うことは行政の責務である。

おかだ やす のり
岡田 康則



学校施設空調機器について

問 第一小学校と第二小学校の体育館エアコンの設置の計画を以前聞いていますので進捗状況をお願い致します。町内学校施設の体育館は避難所となりますので中学校体育館のエアコン設置計画も教えて下さい。

答 第一小学校と第二小学校の体育館は業者と契約締結が終わり2期にわたり施工することとなりました。1期工事につきましては、本年度中に完了し、2期工事につきましては、来年8月頃までに完了を予定しています。(教育振興部長)

答 小学校、中学校、同時に工事ができればいいですが、財政の問題で同時には出来ないのでもまず小学校から工事し、引き続いて、中学校の空調の設置を考えていきます。(町長)

不登校対策について

問 当事者の児童・生徒にすれば今の居場所が誰にも邪魔されずですが、登校してもらう為に学校現場では、担任の先生が家庭訪問などをしてくれているとの事ですが、教育委員会では何か違う施策を考えていますか。

答 校内で教育支援センターを考えています。

教職員が授業のカリキュラムの中で対応して支援をしていくのは難しく、支援員を確保するなど対策が必要になってきます。

今後は校内支援センターを設置し、児童生徒に合わせた居場所を設け、子供の話をゆっくり聞き、子供の心にある負担を取り除いてあげるカウンセリングマインドを大切に子供に寄り添う指導を考えています。

(教育振興部長)

問 教育支援センター設置の予算は確保できますか。

答 現時点でこの予算を措置するしないということは、この場で申し上げられませんがこれから議論が本格化しますので当該部局と財政部局と精査の上、判断をしてまいりたいと思っております。(副町長)

答 色々な悩みを持った子どもたちの支えになるような体制を検討してまいりたいと思っております。(町長)

10月7日 令和7年度北葛城郡・ 生駒郡町村議会議員合同研修会

講演 「自治体議会の役割とは～考え方とノウハウ～」
講師 元精華町議会議員 佐々木雅彦氏

「チーム議会」個々の議員・会派の政治的立場の違いはリスペクトしつつ住民の共通利益の実現には力を合わせる、先進的取り組みを自分の議会で変形させる等、精華町議会での取り組み例を学びました。(梅野)



10月27日 令和7年度奈良県町村議会議長会 全議員研修会

講演 「世界経済が与える日本への影響
そして、日本の政治が担うべき役割」
講師 政治ジャーナリスト 青山和弘氏

県内の多くの町村議員249名の参加で、研修後は他町村議会議員との意見交換の場となり有意義な時間をすごしました。(梅野)



なか やま よし ひで
中山 義英



空き家プラットフォームの設置について

空き家プラットフォームとは、自治体が相談窓口になり、不動産・建築・法律・金融等の専門家団体と連携して、空き家問題の解決を支援する仕組みである。空き家問題の解決には、多様な専門分野の知識が求められ、町職員だけの対応には限界がある。そのため、今後は専門家の知恵を借りる事が必要不可欠と考える。

問 設置時期はいつ頃か。

答 令和8年度の早い時期を考えている。(住宅課長)

問 対象となる相談内容は。

答 空き家の売買・賃貸・寄付・除去・跡地利用など。(住宅課長)

問 相談の流れについて。

答 所有者からの依頼を受けて、了承を得れば町が空き家プラットフォームに展開する。(住宅課長)

問 一般的に「空き家予備軍」と言われる、65歳以上の高齢者しか住んでいない持ち家の方への個別対応について。

答 対象者を把握した上で、個別対応も含めて相談の機会を設ける予定。(住宅課長)

道路行政について

道路の維持管理は道路行政の1つであるが、町内に事故の危険性が高い道路は多数存在する。特に、道路状況が悪い所は、久美ヶ丘と中山台の生活用道路である。

問 道路改修事業が進んでいない主な原因は。

答 予算上の制約と技術職員の不足。(まちづくり推進部長)

問 道路の全面改修は、どのような評価基準に基づいて優先順位を決めているのか。

答 5年ごとの路面状況調査により、舗装の劣化度等を評価した上で優先順位を決めている。(まちづくり推進部長)

問 「路面状況調査」により、最悪の道路評価になっている町道の路線数とその地域及び改修費用は。

答 久美ヶ丘・佐味田・西穴闇・長楽の4地域で36路線、費用は約4億円。(建設課長)

問 中山台地区は、住宅開発以降、約50年間道路改修が行われていないため、表面のアスファルト舗装が溶けて、事故の危険性が高くなっている。中山台地区と最悪の道路評価になっている4地域の道路全面改修に要する期間は。

答 現在の予算規模では20年を要する。(まちづくり推進部長)

問 道路全面改修に20年は余りにして遅すぎる。20年もかかっていたら、20年目の道路は、改修時までにもっと悪くなっている。さらに20年の間に、他の所でも道路状況は悪くなる。事故が起こってからでは手遅れである。今日の道路状況を招いたのは、長年に亘って、適切な維持管理を徹底して来なかった、河合町の職務怠慢の結果である。遅くても、5年以内に完了できないのか。

答 限られた財源の中で、国・県の補助金も活用できるかを検討しながら、20年とはかからない様に対応する。(町長)

うめ の み ち よ
梅野 美智代



町の道路整備について

問1 道路施設整備の実施にあたって優先順位のつけ方について、限られた財源の中で効率的に整備を行うために、危険度や利用者数、通学路や高齢者の生活道路等を考慮した優先度設定が不可欠です。整備の緊急度や優先順位をどのような基準で年間計画、中期計画に反映させていますか。自治会要望から5～6年経過した場所もありますが、優先順位が低いならば、いつまで待てばよいのか、現時点での調査、点検を実施し最新の現状をお示し下さい。

答1 現場の状況、通行量の多さ等を指標として判断しているところです。自治会等の立会い等の実施や危険度等の条件は同等と判断し、段階的に早期転落防止柵の設置を進めてまいります。

問2 安全対策の視点から、通学路の危険箇所に関する対策は喫緊の課題です。歩道の未整備区間、見通しの悪い交差点、スピードを出しやすい直線道路等、子供や高齢者が安心して通学できる環境づくりが求められます。その中で区画線(白線)等は重要な交通安全施設であると考えますが、現在の取り組み状況と今後の改善計画についてお示し下さい。

答2 交通安全対策として区画線(白線)の設置により視認性を高めると認識しています。現状新たに新規で引く必要性のある場所に加えて、区画線(白線)が薄くなっている箇所も多く点在しているので改修と新規の両面から計画的に進めていきます。(まちづくり推進部長)

職員採用にあたっての処遇改善について

問 応募者が少なかった保育士採用に向けた広報、PR活動の状況、本町を選択してもらえるために有効な採用活動や募集時期を早める考えをお聞かせください。

答 ホームページ、ポスターにて周知、SNSを含むインターネットを活用した周知方法にも今後力をいれていきます。採用時期は民間採用選考活動の時期や国家公務員採用試験の日程等を参考に実施、検討させていただきます。(町長、総務課長)

フリースクールについて

問 フリースクールを開校される予定ですが利用に係る費用の一部補助や利用支援制度を検討されますか。

答 要項等を定め一部補助も検討していきたいと考えています。(教育総務課長)

まほろば環境衛生 組合施設視察

令和7年10月21日、河合町・広陵町・安堵町で構成される「まほろば環境衛生組合」が運営する「ごみ中継施設」を視察しました。町内で収集された可燃ごみを大型車両に積み替え、天理市にある「やまとecoクリーンセンター」へ搬入します。(常盤)



河合清掃工場視察

令和7年12月17日、すでに可燃ごみ焼却の役目を終えた清掃工場を視察しました。焼却残のごみの焼却完了状況や今後も引き受ける「収集外のごみ」の受け入れ態勢の確認、併せて資源・粗大ごみの処理状況を確認しました。
※収集外のごみは、今後も「仮ストックヤード」を設けて受入れます。(常盤)



全会一致で原案可決・承認・同意・了承・適任とした議案

令和7年第4回（12月）定例会

- ・議案第55号 令和7年度河合町一般会計補正予算について
- ・議案第56号 令和7年度河合町介護保険特別会計補正予算について
- ・議案第57号 河合町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- ・議案第58号 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ・議案第59号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- ・議案第62号 工事の請負契約について

令和7年第4回（12月）定例会 議決結果賛否一覧

○…賛成 ●…反対

議案番号	議案名	松本貴司	常盤繁範	梅野美智代	佐藤利治	中山義英	坂本博道	長谷川伸一	松本光清	大西孝幸	馬場千恵子	岡田康則	定田俊文	議決結果
議案第60号	工事請負契約の変更契約の締結について	○	●	○	○	○	●	●	○	○	●	○	議決結果に及びません	原案可決(賛7・反4)
議案第61号	河合町都市計画マスタープランを定めることについて	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	議決結果に及びません	原案可決(賛9・反2)



傍聴者の声

①名前 ②性別 ③年齢 ④傍聴回数 ⑤内容

①南口好英 ②女 ③75才
④4～5回 ⑤一般質問



時々一般質問の傍聴に出掛けます。この町で今何が問題になっていて、議会で何が議論されているか？

今回は、町の文化会館と図書館の存続問題が出ていたので足を運んだ。議論もさることながら、質問内容が良くわからない議員もいて、答弁も答えにならず、はぐらかした内容のまま終わってしまう場合もみられる。議員に与えられた時間が短かすぎるのではと思ってしまいます。また、傍聴する為には事前に、氏名、住所、年齢、性別など記入しなければならず、それがいやでこない人もいると聞く。傍聴規則に決められているので仕方のないのか？個人情報の観点からも今後議論してほしい課題の一つです。

また、議員の質問に行政側の職員が答弁する時、答弁者がどこに座っていて、答えているのかわからない。答える職員の机に赤い小さなランプがつけば傍聴者から答弁者がわかる。等々感じたままをチョコッと書いてみました。

①中村孝三郎 ②男 ③70代
④常時 ⑤一般質問



一般質問を傍聴することによって各議員や町長の能力、人格、考え方、思想傾向が分かり彼らの判断力、実行力、町政への熱意などが分かってきます。それによって今度の選挙に選ぶべき人は誰が適当かが分かります。これらが分からずに選挙で誰を選ぶべきか投票日に呆然とすることは選挙民としては誠に情けないことではないでしょうか。傍聴に行かずして選挙なし。自分の住む町を良くしたいと誰もが思うことですが良くするには立派な良い優秀な人を議員として議会へ送り出すべきです。そのような人を選別するにはとにかく傍聴に行くことです。傍聴に行くことが町を良くするための最高で唯一の選択です。傍聴は選挙民の義務なり。

①田畑一郎 ②男 ③89才
④毎回 ⑤一般質問



私の議員時代より今の議員さんは、大変勉強されておられ、良い質問やするどい町に対しての指摘があり、傍聴に行っても大変勉強になります。もっと多く傍聴に参加して、町の未来を考えよう。

①星加恭佑 ②男 ③80代
④約60回 ⑤一般質問



若い時から、政治に関心があり、町議会や、県議会的一般質問を傍聴させていただいております。取り分け、一番身近な町議会は、議員の方と親しみを感じ傍聴させていただいております。さて、一般質問の内容ですが、通告者にて、質問を行い、町側としても、丁寧に答える、これでいいと思います。ただし、質問内容によっては、町の行政としても、いつまでと言う、期限を切る解答をしていただけると、もっと緊張感のある一般質問になると思います。政治家は言葉が生命と言われます。その為に現場に赴き勉強して、住民からこの議員を選んで良かったと言われる、そんな議員を期待致します。

①T氏 ②女 ③60代
④20回以上 ⑤一般質問



毎回、行ける範囲で、議員の皆さまの活躍を傍聴させていただいております。住民の声を聴き、住民の代弁者として沢山の課題に奮闘されている姿を見ております。課題としては、職員は良いことと判断したなら失敗を恐れずチャレンジする事を願います。同じ北葛4町でも行政の住民サービスに温度差がありすぎと思います。傍聴をさせて頂いて、納得のできない事もあります。議会だよりや録画配信をして頂いておりますが、傍聴に行くと各議員の熱量が伝わってきます。『平和・教育・文化』いのち輝く未来の河合町を希望いたします。

総務文教常任委員会結果報告

委員長 中山 義英

議案第55号「令和7年度 河合町一般会計補正予算について」 ○主な内容

今回の補正予算は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ2,694万7千円を追加し、予算総額を83億6,566万円とするものです。

歳出の主なものとしては、「軽自動車税申告手続きのオンライン化に伴うシステム改修費」として、105万6千円を増額。

「戸籍住民基本台帳費」においては、戸籍の共同親権への対応に伴うシステム改修費として、258万5千円の増額。

後期高齢者医療費では、令和6年度の医療給付費の清算に伴う負担金として、1,672万7千円の増額。

「児童福祉施設費」では、奈良県保育士等処遇改善事業補助金として、264万円の増額、財源として県補助金が50%充当されます。

「消防施設費」では、Jアラートの新型受信機への更新に伴う工事請負費として、360万円の増額、財源として地方債を100%充当。

歳入の主なものとしては、「繰入金」として、財政調整基金から2,202万7千円を歳入歳出の財源調整として繰入。

なお「地方債の補正」については、起債限度額合計を6億360万円に変更。

○委員会として 全員賛成で可決

議案第59号「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について」 ○主な内容

河合町の基幹業務システムを「地方公共団体情報システム標準化基準」に適合させるにあたり、「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定する「住登外者宛名番号管理機能」を個人番号の独自利用事務として条例に規定する必要があるため、条例の一部を改正するものです。

条例は、令和8年1月1日から施行されます。

○委員会として 全員賛成で可決

厚生建設常任委員会結果報告

委員長 長谷川 伸一

議案第56号「令和7年度河合町介護保険特別会計補正予算について」 ○主な内容

67万7千円の増額補正

問 令和7年度税制改正に伴い令和8年度の介護保険料への影響は出ますか。

答 給与所得控除額の最低保証額が55万から65万に引き上げられるため、その影響が出ないようシステム改修を行うものです。

○委員会として 全員賛成で可決

議案第57号「河合町乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」 ○主な内容

「こども誰でも通園制度」を実施するための条例制定です。

問 現在実施している「一時預かり事業」との違いやメリットは何ですか？

答 「こども誰でも通園」は子どもの育ちを応援し、子どもが継続的に通園できる制度で、保育対象にならない場合も定期的に預かれる点がメリットです。

○委員会として 全員賛成で可決

議案第58号「児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」 ○主な内容

地域限定保育士制度が一般制度化され、保育士の人材確保を促進するための条例制定。

問 資格の取得方法はどのようなのですか。

答 試験としては保育士資格を取得する試験と同じ内容のものに合格し、実技試験に代わり、実技講習会が必須となる。奈良県が来年秋試験制度の導入を目指している。

○委員会として 全員賛成で可決

議案第60号「工事請負契約の変更契約の締結について」 ○主な内容

現在建設中の不毛田川内水対策事業調整池（一期目）整備工事において、主に土工の工種の部分で、土質が設計基準以上に軟弱であったため残土処分受け入れ先の変更と処分価格の変更、また護岸工事の施工において現場残土を再利用し埋め戻す計画であったが、新たに購入した山土で埋め戻しを行った事などにより約6,970万円の増額変更となった。

問 議会承認に係る手続き等の対応について、国のガイドラインに基づくものであるが、変更額が軽微とは言えない高額であることを踏まえ、事後報告でなく契約変更にあたり事前に説明を行うべきではないか。

答 内水対策工事は主要な事業であり、これまでの経緯なども踏まえ、丁寧な対応に努める。

問 増額変更の財源はどうするのか。

答 令和6年度繰越し予算の中で未契約分の約1億8千円を充当する。

○委員会として 賛成多数で可決

議案第61号「河合町都市計画マスタープランを定めることについて」 ○主な内容

都市計画マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針として位置づけられている重要な計画です。

問 計画の進捗管理としてPDCAサイクルにより、継続的な改善を図るとしているが、進捗の検証については何年後を予定しているか。

答 都市計画マスタープランは20年後のまちを見すえて10年間単位の計画としているので10年後となる。計画に空白期間が生じないよう1、2年前から見直し手続きを行う。

○委員会として 全員賛成で可決

友好都市「飛騨市」行政視察

令和7年10月14日、2002年より友好都市提携締結されている「岐阜県飛騨市議会産業常任委員会」議員委員6人と随員議会事務局員1人、合計7人の行政視察が行われました。同じ町名(地名)、「止利(とり)仏師伝説と伝承」「奈良県内地名月ヶ瀬伝説」と所縁のあることで友好都市提携が結ばれており、関係人口増加に繋がる「観光振興・相互人材交流・相互産業紹介」について、町文化財(長林寺)視察を含め意見交換しました。(常盤)



所在地：河合町穴間

編集後記

今回、各議員の一般質問のコラムを皆様が読みやすくするために横から縦方式に変更しました。まだまだ他にも改善する点があると思います。

皆様からの貴重なご意見お待ちしております。

長谷川伸一



問い合わせ 河合町議会事務局

電話：0745-57-0200（内線 311） FAX：0745-57-1711
メール：gikai@town.kawai.nara.jp

次の議会は3月定例会を予定しています。

詳しい日程は、決定しだいホームページに掲載いたします。

河合町議会公式
ホームページから
ご覧いただけます

